

開館46年目、山口県文書館

山口県文書館 山崎 一郎

山口県文書館は、「山口県の公文書及び記録並びに県内の歴史に関する文書及び記録」（山口県文書館条例）を収集、管理し、その活用を図り、文化の発展に寄与することを目的として、昭和34年4月、日本で最初の公立文書館として誕生しました。今年で開館46年目を迎えます。山口県では、昭和戦前期以来、県立山口図書館郷土史料室（のち資料室）へ県庁から旧藩記録や非現用文書が移管されており、加えて昭和27年には旧萩藩主毛利家から県へ毛利家文庫約5万点が寄託されました。これらの保存と公開を図るため、山口図書館が中心となり諸外国のアーカイブズ研究が進められ、構想されたのが山口県文書館です。

現在所蔵する文書には、毛利家文庫をはじめとする藩政文書、明治期以降の県の行政文書および行政資料、県内の諸家、個人から寄贈・寄託された文書（諸家文書）、特設文庫（教科書文庫・雑誌文庫等）等があります。

中核的業務である文書の収集・整理、目録作成、閲覧業務のほか、普及活動も各種実施しています。特に、県民に文書館の活動や収蔵文書に対する理解を深めてもらうため、歴史講座など様々な行事を集中的に実施する文書館デイズ（文書館ウィークを改称）には力を入れています。なお、平成15年度にはホームページを一新し、所蔵文書データベースの提供を開始しました。これにより、所蔵文書のうち約8万点について、ホームページ上での検索が可能となっています。



山口県行政文書の重要文化財指定

今年、当館が所蔵する「山口県行政文書」が国の重要文化財（歴史資料）に指定されました。点数は13,549点。都道府県行政文書が重要文化財に指定されるのは、京都府に続いて全国で2例目となります。また、当館の所蔵品が国の重要文化財に指定されたのは、「有光家文書」（指定平成4年6月）、「大内版法華経板木」（同10年6月）に続いて3例目です。

指定された文書の内訳は、県庁文書12,597点、郡役所文書952点で、一部江戸時代の文書（大島宰判勘場文書。大島郡役所に伝来したもの）も含まれていますが、そのほとんどは、明治初年から昭和22年3月の地方自治法施行以前のもので、明治前期の士族反乱「萩の乱」に関する文書など歴史的に著名な事件に関するもののほか、県庁各課の文書がまんべんなく、時期的なかたよりなく残されている点が大きな特徴です。

明治から昭和戦前期の行政文書がこのように大量に残ったのは、ひとつには県庁舎が火災や戦災に遭わずに済んだことが大きな理由ですが、もちろんそれがすべてではありません。昭和戦前期、非現用文書（特に秩禄処分関係の文書）が山口県史編纂所へ編纂資料という名目で引き継がれ、戦後にも、農業発達史調査や山口県政史編纂事業などを契機として、県庁から図書館ならびに文書館へ非現用文書が引き継がれるケースがあったことは、文書が伝来する上で大きな要因となりました。

また、忘れてならないのは、昭和34年の文書館設置以前から、山口図書館郷土志料室（のち資料室）が中心となり、県庁各課が廃棄した文書から歴史的価値の高い文書を収集する活動が実施されていたことです。この活動はその後、文書館へと引き継がれます。それは、非現用文書の歴史的価値や保存の重要性が今ほど叫ばれていない時期のことです。「ゴミひろい」とも揶揄された廃棄文書からの収集活動により、多くの文書が救われ、その結果、重要文化財指定にまで至ったのです。非現用文書の歴史的価値を早くから認識し、その保存・収集に努めた先人の活動に、あらためて頭を下げるを得ません。



重要文化財に指定された山口県行政文書

データシート

(平成17年 3月31日現在)

- ・機関名：山口県文書館
- ・所在地：〒753-0083 山口市後河原150-1
- ・電話/FAX/083-924-2116/083-924-2117/
- ・ホームページ：<http://ymonjo.ysn21.jp/>
- ・交通：JR利用の場合：JR新山口駅から山口線山口駅下車。県庁方面へ徒歩20分。
バス利用の場合：山口宇部空港・JR新山口駅から「県庁前」バス停下車。
山口駅方面へ徒歩10分。または「美術館前」バス停から徒歩3分。
- ・開館年月日：昭和34年4月
- ・設置根拠：山口県文書館設置条例（昭和34年4月1日）
- ・組織

館長—副館長	{	総務班（職員1名）
		業務班（職員5名）
		地方調査員（10名・非常勤）
- ・建物：鉄筋コンクリート造、地上7階・地下2階（図書館併設） 延床面積1,156.67㎡（文書館エリアのみ）
- ・収蔵資料の概要（平成17年3月31日現在）：

藩政文書	93,217点	行政文書	69,592点	行政資料	122,960点
諸家文書	102,169点	特設文庫	21,526点	図書	33,462点
- ・開館日数/閲覧室利用者数（平成16年度）：272日/3,779人（うち閲覧者数2,356人）
- ・主な事業（平成16年度）：
 - 文書収集：行政文書・行政資料・諸家文書
 - 目録作成：行政文書・行政資料・諸家文書・藩政文書
 - 出版物：所蔵文書目録・研究紀要・文書館ニュース
 - 普及事業：古文書入門講座・古文書基礎講座・古文書専修講座・文書館デイズ
 - 月間小展示
 - 県内史料所在調査
 - 市町村公文書等保存支援事業